暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

WIN²K

製品のカタログ・技術情報等はこちら
www.MitsubishiElectric.co.jp/wink

三菱電機WIN2K　検索

三菱電機
暮らしと設備

暮らしと設備の総合案内サイトはこちら
www.MitsubishiElectric.co.jp/setsubi

暮らしと設備　検索

三菱電機空調冷熱ワンコールシステム（365日・24時間受付）

0120-9-24365（無料/フリーボイス）
9:00 24時間 365日

問合せ先がご不明な際は、こちらにおかけください。
「修理のご依頼」「サービス部品のご相談」「技術相談」
（技術相談の対応時間は月～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00）

役に立つサービス情報を発信するITツール
携帯電話から空調機の簡易点検内容が検索できます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/wink_doc/tc/
検索対象　スリムエアコン　ビル用マルチエアコン　冷凍機

この機種に関する研修会を実施しています。
詳細は→ http://www.request.co.jp/
三菱電機 住環境営業技術研修センター
お問い合わせ●Tel：03-5798-2167 ★お申し込みは、三菱電機製品お取引先へお願いします★

MELく～るLINKは下記にお問合せください。

サービス概要 遠隔監視接続デバイス関連 （仕様、設置）	三菱電機空調冷熱 ワンコールシステム 0120-9-24365	サービス概要 通信状況関連 契約関連（書類、契約方法） WEB画面関連（設定、操作）	三菱電機ビルソリューションズ ビルまるごと相談室 0120-0510-07

三菱電機株式会社　〒100-8310 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号（東京ビル）

営業拠点

三菱電機住環境システムズ株式会社　北海道支社 …… (011)893-1342
三菱電機住環境システムズ株式会社　東北支社 …… (022)742-3020
三菱電機住環境システムズ株式会社　関越支社 …… (048)651-3224
三菱電機住環境システムズ株式会社　東京支社 …… (03)3847-4165
三菱電機住環境システムズ株式会社　中部支社 …… (052)527-2080
北陸営業部 …… (076)252-9935
三菱電機住環境システムズ株式会社　関西支社 …… (06)6310-5060
三菱電機住環境システムズ株式会社　中四国支社 …… (082)504-7362
四国開発営業課 …… (087)879-1066
三菱電機住環境システムズ株式会社　九州支社 …… (092)476-7104
沖縄三菱電機販売株式会社 …… (098)898-1111

VEGETABLE OIL INK

11382703〈IP〉

この印刷物は、2024年6月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。
製品の色は、印刷物なので、実際の色とは若干異なる場合があります。

2024年6月作成

Changes for the Better

MITSUBISHI ELECTRIC

MELく～るLINK ご利用ユーザー様向けガイドブック

有償契約　本サービスをご契約・ご採用の際は裏表紙に記載の最寄りの販売窓口までご相談ください。

快適に、安心に、暮らしにLINK

MELく～るLINK

しあわせをシェアしよう。

お客様に寄り添う、
ライフサイクルソリューション

当社製品およびサービスの企画・設計から運用、保守メンテナンス、リニューアルなど、
お客様の各業務フローにおける課題に対して、総合電機メーカーのメリットを活かした
様々な技術や支援体制で、継続的なソリューションをご提供いたします。

MELく~るLINK

INDEX 目次

1 MELく~るLINKとは P.1~3
2 ご利用までの流れ P.4~7
3 納入事例 P.8
4 フロン排出抑制法について P.9~11
5 サービス比較 P.12

1 MELく～るLINKとは

三菱電機が注力する5つの重要課題

カーボンニュートラル
自社と社会のCO_2を減らし、気候変動を抑える脱炭素社会の実現

サーキュラーエコノミー
資源が有効活用され、持続的に循環する社会の実現

安心・安全
様々な環境変化やリスクに対応できるレジリエントな社会の実現

インクルージョン
あらゆる人を尊重し、誰もが自由で公正にいきいきと過ごせる社会の実現

ウェルビーイング
一人ひとりの心身共に健康で快適なくらしの実現

マテリアリティ(重要課題)

- 持続可能な地球環境の実現
- 安心・安全・快適な社会の実現
- あらゆる人の尊重
- コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの持続的強化
- サステナビリティを志向する企業風土づくり

SDG's達成に向けたカーボンニュートラルの実現へ。
いま、世界では様々な取り組みが強化されています。

カーボンニュートラルの実現に向けて、様々な取り組みが強化されてきました。例えば、フロン排出抑制法。2022年から常時監視システムでの簡易点検代替が可能になり、フロン冷媒への管理対策に注目度が高まっています。
それに加えて、昨今の労務課題を踏まえた、働き方改革の推進。普段、空調機器を取り扱っている皆さまもいろいろな課題をお持ちじゃないでしょうか？

空調機器の管理だけでも、多くのお困りごとを抱えていませんか？

そのお悩みを“MELく～るLINK”でサポートします!

MELく～るLINK

空調冷熱製品の異常発報、運転データ、冷媒漏えい診断を遠隔でキャッチ

システム構成イメージ

LTE通信によるサービスのため、お客様のインターネット回線への接続は不要です!!

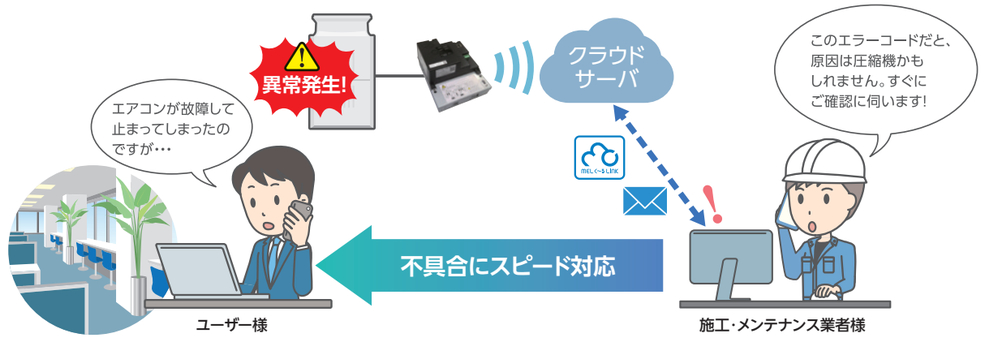
サービス概要

サービス名称	MELく～るLINK(メルクールリンク)
接続機器	遠隔監視接続用デバイス　形名：MCC-50J
サービス契約形体	標準使用料(月額制)+オプション使用料(月額制)
機　能	〈標準機能〉 ①異常発報 〈オプション機能〉 ②運転データ閲覧 ③冷媒漏えい診断
特徴	・複数物件の管理が1画面で可能。 ・WEBブラウザでのサービスのため、アプリのダウンロードは不要。 ・いつでも遠隔からユニットの状態を確認可能。 ・PCなど、WEBブラウザを利用できる端末を用いてサービス利用可能。

1 MELく～るLINKとは

メリット1 異常発生時のスピード解決！

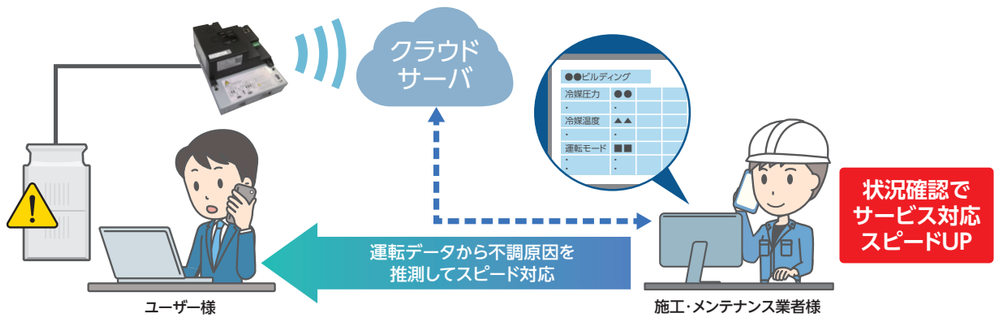
空調機の調子が悪い、急な異常停止で困った･･･そのようなお困りごとも当サービスで解決！
異常発生時は即時メールでお客様と施工･メンテナンス業者様へお知らせ。異常通知ともに異常内容も届くため、遠隔で運転データも確認することで、早急な設備復旧が可能です。



メリット2 適切な機器管理！

過去の異常や空調機の運転状況を確認したい･･･そのようなお困りごとも当サービスにお任せ！
過去の異常履歴や異常内容の確認に加え、冷媒温度や冷媒圧力などのユニットの細かな運転データをWEBブラウザ上で確認可能です。

※1. ご利用の際は、別途オプション契約が必要です。対象機種はP.5をご覧ください。
※2. 周囲環境や運転状況によっては、正常に運転データを取得できない場合があります。詳しくは、P.4「ご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。



メリット3 点検業務の省人･省力化！

フロン排出抑制法で義務化されている簡易点検はどうやればいいの？ 3カ月に1回の簡易点検が大変。点検にかかる時間や手間を減らしたい･･･そのようなお困りごとも当サービスで解決！
法令に基づいた遠隔での冷媒漏えい診断機能を搭載することで、面倒だった空調設備の簡易点検が不要になります！
さらに万一の冷媒漏えい時には即時通知されますので、設備の早期復旧、冷媒漏えい量の削減につながります。

※1. ご利用の際は、別途オプション契約が必要です。対象機種はP.5をご覧ください。
※2. 周囲環境や運転状況によっては、正常に診断できない場合があります。
詳しくは、P.4「ご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※3. 点検結果に基づき帳票を作成する作業はユーザー様にて実施ください。

2 ご利用までの流れ

ご利用までの流れ

※step3「サービスのご利用申込み」を除き、業者でのご対応が必要です。詳しくはお近くの販売窓口までご相談ください。

STEP 1 接続機種のサービス対応可否確認

STEP 2 デバイス設置環境の確認
（デバイス設置用の盤があるか、通信状況が良好か等）

STEP 3［ユーザー様にて対応］ サービスのご利用申込み（申込後にID、パスワード発行）
※遠隔監視接続用デバイスは事前に手配してください。
※電気通信事業者の届出が必要になる場合があります。
ご契約の前に、必ず、お近くの営業窓口までご相談ください。

STEP 4 設置工事

STEP 5 現地開通試験
※通信用のUSB機器は契約後に送付いたします。

STEP 6 サービス開始

■ご利用にあたっての注意事項

1.ご利用前の注意事項
（1）本サービスは集中管理用伝送線「M-NET」を用いたサービスの為、監視したい空調機器は全て「M-NET」に接続されている事をご確認ください。
（2）本サービスはLTE回線を使用しているため遠隔監視用通信デバイスの設置予定現場の電波強度測定を実施し、確認する必要があります。
（3）申込時には接続する機器のアドレス、形名の分かるもの（システム図等）が必要です。
（4）店舗・事務所用パッケージエアコンをご利用の場合は、別途、別売部品のM-NET接続用アダプタが必要です。

2.遠隔監視接続用デバイス設置について
（1）事前に現地の通信環境をご確認ください。
（2）設置については、据付工事説明書に沿った作業をお願いいたします。

3.ご契約について
（1）MELく～るLINKは、三菱電機（株）が業務委託をおこなう三菱電機ビルソリューションズ（株）を窓口としてのご契約となります。
（2）遠隔監視接続用デバイスの購入のほかに、サービスのご契約（有償；月額）が必要になります。
（3）ご利用申込み時に遠隔監視接続用デバイス個別のシリアルナンバーの記入が必要なため、お申込み前に遠隔監視接続用デバイス本体を手配ください。
（4）ご契約頂いた後、ID、パスワードをご連絡いたします。
（5）MELく～るLINKの利用を終了する場合は、ユーザー情報削除の前に必要なデータの出力をしてください。

4.冷媒漏えい診断機能について
（1）MELく～るLINKは、フロン排出抑制法で定められた「常時監視システムを用いた遠隔監視による簡易点検」を行う場合※1に、冷媒漏えい診断※2と点検結果の確認を行えます。法令で定められた「点検記録簿の作成･保管」を行う際に、簡易点検についての記録は、常時監視システムの点検結果を基に、別途お客様にて記入していただく必要があります。
※1. 令和4年経済産業省・環境省告示第九号により、常時監視システムのうち要件（(2)項参照）に適合するものを用い、遠隔監視で検査（簡易点検）に代えることが可能となりました。
※2. 冷媒漏えい診断にて冷媒漏れの疑いを検知した場合は、速やかに専門業者にて点検･修理を行ってください。
（2）MELく～るLINKの冷媒漏えい診断は、JRA GL-17:2021［2021年（令和3年）5月24日制定版］（（一社）日本冷凍空調工業会作成ガイドライン）で規定されている「定格（冷房、冷却、冷凍、除湿）の条件」で漏えい検知性能を確認し、フロン排出抑制法で定められている「常時監視システムを用いた遠隔監視により簡易点検を行う場合の機器の要件」に適合した機能を有しています。（p9以降の「フロン排出抑制法について」にて説明）ビル用マルチエアコン･設備用パッケージエアコンでは、機器の特性上、JRA GL-17:2021で規定された定格運転以外の条件では、診断の性能が低下する場合があります。検知判定ができない場合は、事前に通知いたしますので、機器点検の実施をご検討ください。
（3）一定の稼働条件を満たせず、冷媒漏えい診断ができていない場合は、現地での目視点検が必要になります。
（4）冷媒漏えい診断機能は、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いがあることを診断し、その診断結果を提供する機能です。
（5）次のいずれかに該当する場合は、正常に診断できない場合があります。
①遠隔監視接続用デバイス、空調機器の故障、停電などにより運転データを正常に取得できなかった場合。
②空調機器施工時に封入すべき冷媒量に関して、当社が定める冷媒量を封入していない場合。
③空調負荷の大きな変動などにより空調機器の安定した運転ができない場合。
（6）冷媒が適正に充填されていることを確認の上、サービスを開始してください。
（7）三菱電機ビルソリューションズ（株）以外で設置工事を実施した場合は、MELく～るLINK契約前に冷媒充填量のエビデンスをご準備ください。当該エビデンスがない場合は、契約後に有償で冷媒量の確認をさせて頂く場合があります。

5.ソフトウェアバージョンアップについて
（1）本サービスは、システム保守や機能アップのため、ソフトウェアバージョンアップを行う場合があります。
①バージョンアップ実施時はWebサイトで変更を公開します。
②バージョンアップ中とその前後で一時的に運転データが閲覧できない場合や記録されない場合があります。

2 ご利用までの流れ

STEP 1 接続機種のサービス対応可否確認

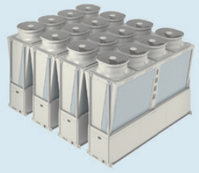
対象機種一覧 機種、シリーズによりご利用いただける機能が違う場合があります。詳しくは下記専用サイトの対象機種一覧より、ご確認ください。

ビル用マルチエアコン

設備用パッケージエアコン

店舗・事務所用
パッケージエアコン

空冷式ヒートポンプ
チラー DT-R



業務用ロスナイ

※注意事項

1. 運転データ閲覧機能について
   ・2006年発売以前のビル用マルチエアコン(末尾PUH(R)Y-P**CM-E以前)
   ・2012年発売以前の店舗・事務所用パッケージエアコン(PUZ-KP**HM4以前)
   については、「運転データ閲覧機能」の対象外となります。

冷媒漏えい診断の対象機種は、下記サイトから検索いただけます。

MELく～るLINKの専用サイトも
ぜひご覧ください!

暮らしと設備　MELく～る　検索

URL : https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/air/guide/solution/melcool/index.html

STEP 1 対象機種をclick!

STEP 2 形名を入力し、検索するをclick!

STEP 3 お使いの空調機が冷媒漏えい診断に対応しているか確認できます!

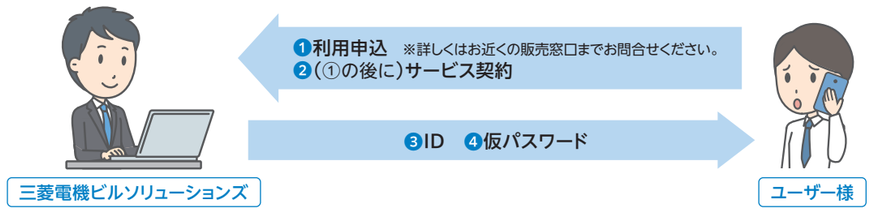
STEP 2 デバイス設置環境の確認

①既設制御盤内の設置スペース有無をご確認ください。
　設置が難しい場合は、別途収納ボックスをご用意ください。
②設置場所の通信状況が良好かご確認ください。
　(通信状況確認用PCの貸し出しについては、営業担当者へご相談ください)。

STEP 3 サービスのご利用申込み(申込み後にID、パスワード発行) ※遠隔監視接続用デバイスは事前に手配してください。

遠隔監視接続用デバイスを事前に手配。機器に記載されているシリアルナンバーを記入し、利用申込みを行います。

※利用申込みにつきましては、お近くの販売窓口までお問合せください。
※実際の利用申込時、およびご契約書類の取り交わしは、三菱電機ビルソリューションズ(株)が窓口となります。



STEP 4 設置工事

既設制御盤内に設置。
※既設制御盤内に設置が難しい場合は、別途収納ボックスをご用意ください。

必要機器

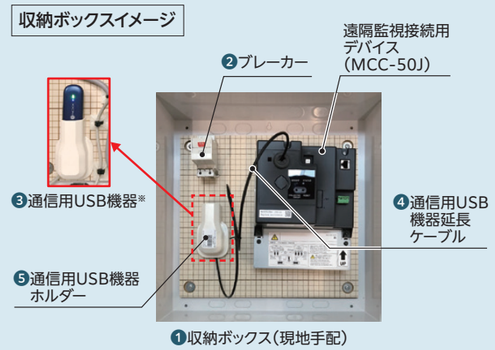
❶MCC-50J収納ボックス
　(既設制御盤内にスペースがない場合)
❷ブレーカー
❸通信用USB機器
❹通信用USB機器延長ケーブル(5m以内)
❺通信用USB機器ホルダー

設備業者にて設置・開通試験を行う場合、
❶❷❹❺を現地手配ください
(❸はサービス契約後に送付します)。

三菱電機ビルソリューションズ(株)にて開通試験を行う場合、
❶❷❺を現地手配ください(❸❹は現地に持参します)。

既設制御盤内に収納をお願いします。
又は、収納ボックスをご用意ください。

収納ボックスイメージ



※遠隔監視接続用デバイス(MCC-50J)に取り付ける通信用USB機器でLTE回線を介してクラウドサーバと通信。

STEP 5 現地開通試験

機器(デバイス)の設置工事完了後、サービス使用のための開通試験を行います。
尚、通信用USB機器に関しましては、契約後に送付致します。

STEP 6 サービス開始

開通試験後、ご利用開始月より、MELく～るLINKをご利用頂けます。

※詳しくはお近くの販売窓口までご相談ください。

2 ご利用までの流れ

サービスご利用画面

ID、パスワード入力画面

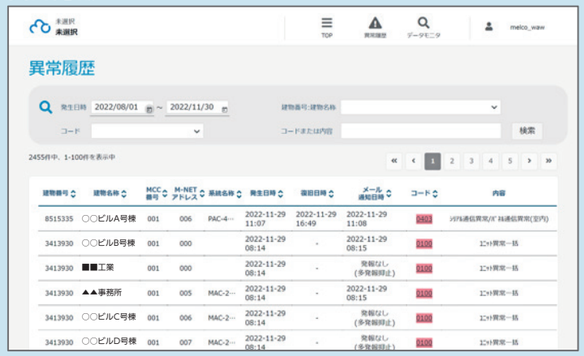
※ID、パスワードはご契約申込み後に発行・ご連絡いたします。

ご利用コンテンツ選択

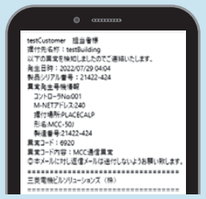
※ご契約によって画面のご利用可能なコンテンツが変わります。

画 面 例

異常発報



- 知りたい日時・時間の異常履歴をチェック。
- メールの発報時間も確認可能。



※異常メールサンプル

ユーザー様

冷媒漏えい診断

- OK(青丸：漏えいの疑いなし)、NG(赤丸：漏えいの疑いあり)一目でチェック可能。
- 結果の出力(CSVデータ)も可能。

フロン排出抑制法関連法令に記載の簡易点検の代替となる点検業務の常時監視システムに対応。

※法令で作成・保管が義務付けられている点検記録簿はお客様にて作成いただく必要があります。

ユーザー様

※「異常発報」画面、「冷媒漏えい診断」画面は現状の大きさで解像度150dpi(低解像度)です。ご確認くださいませ。

3 納入事例

補助金活用による納入事例

外出中でも異常時にお知らせが来るので迅速な対応が可能!

東葛メモリー 月のあかり南柏会館 様（千葉県）

東葛メモリー様は千葉県を中心に、自社ホール「月のあかり家族葬」を展開している葬儀社です。葬儀の事はもちろん、事前相談や終活、仏壇や相続等の手続、グリーフケアなど全ての案内窓口となれるのが月のあかり様です。スタッフの皆様で細やかな気遣いができるよう日々心がけていらっしゃいます。

ご採用機器

室外機：PUHY-RP140DMG9他　5系統
室内機：PLFY-P36HMG9他　21台
集中リモコン：AE-200J　1台
遠隔監視接続用デバイス：MCC-50J　1台

お客様の声 01　MELく～るLINK導入のきっかけ

機器更新をきっかけに最新の空調機管理ツールに魅力を感じ導入をお願いいたしました。

千葉県の助成金をきっかけに老朽化した空調機を入れ替えました。その際にフロン排出抑制法の改正とMELく～るLINKのご説明をいただき、これからの時代のツールとして必要であると考え導入を決意いたしました。

東葛メモリー　月のあかり南柏会館　錦戸様

お客様の声 02　活用ポイント

外出中でも異常時にメールでお知らせが来るので迅速な対応が可能!

業務上外出の機会が多く、現地にて機器を確認する事が困難な状況でも、空調機に異常が発生した際にメールが届き、すぐに修理・メンテナンスの依頼をすることができるため大変便利です。

販売店紹介　**三菱電機ビルソリューションズ株式会社 様**

技術革新へのひたむきな挑戦と、人と社会に寄り添った価値の提供により、ビル・都市空間における人々の豊かな暮らしに貢献します。

販売者の声 01　MELく～るLINKおすすめの経緯

お客様の設備を長期的にサポートするお役立ちツールとして紹介

大切なご葬儀を行うお客様にとって、空調機のダウンタイムの長期化は回避したいものです。他の系列店へ外出することが多いお客様でも、万が一の場合に、直ちに、空調機異常が把握できるため、速やかな一次対応に繋げることができ、ダウンタイムの短縮に繋がります。

三菱電機ビルソリューションズ株式会社　松戸支店　原田様

フロン排出抑制法の規制強化と業務用冷凍空調　機器管理者の責務

温室効果ガス排出量の実態

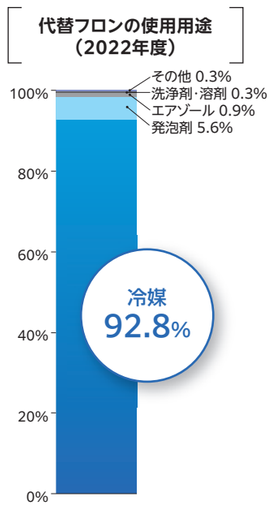
フロン排出への
対策が急務

カーボンニュートラル実現に向けて世界で温室効果ガスの排出量削減が進んでいますが、
代替フロンの排出量は増加傾向にあります。
特に代替フロンの使用用途の**9割以上は冷媒**であり、カーボンニュートラルの実現に向けては、
一層の**冷媒の排出量抑制が必要**になります。

（単位：百万トンCO_2換算）

排出量［シェア］	1990年度	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	対2013年度変化率	対2021年度変化率
二酸化炭素（CO_2）	1,163	1,318	1,042	1,064	1,037	21.32% ↑	-2.60% ↓
代替フロン（HFCs）	13.4	30.3	46.1	46.9	46.1	**+34.27%** ↑	**-1.74%** ↓
その他	20	6.9	5.8	5.5	5.6	-23.21% ↓	1.79% ↑
総計	1,275	1,407.8	1,142	1,164.4	1,135.9	-23.94% ↓	-2.51% ↓

（出典）環境省「2022年度（令和4年度）の温室効果ガス排出量（確報値）について」



フロン排出抑制法で必要な点検・記録等の作成と保管

点検と記録・保管が必要

フロン排出抑制法では、**簡易点検**や**定期点検**に加え、**記録簿の作成と保管**が義務付けられています。
記録に関しては点検記録はもちろん、修理した記録も作成し保管する必要があります。

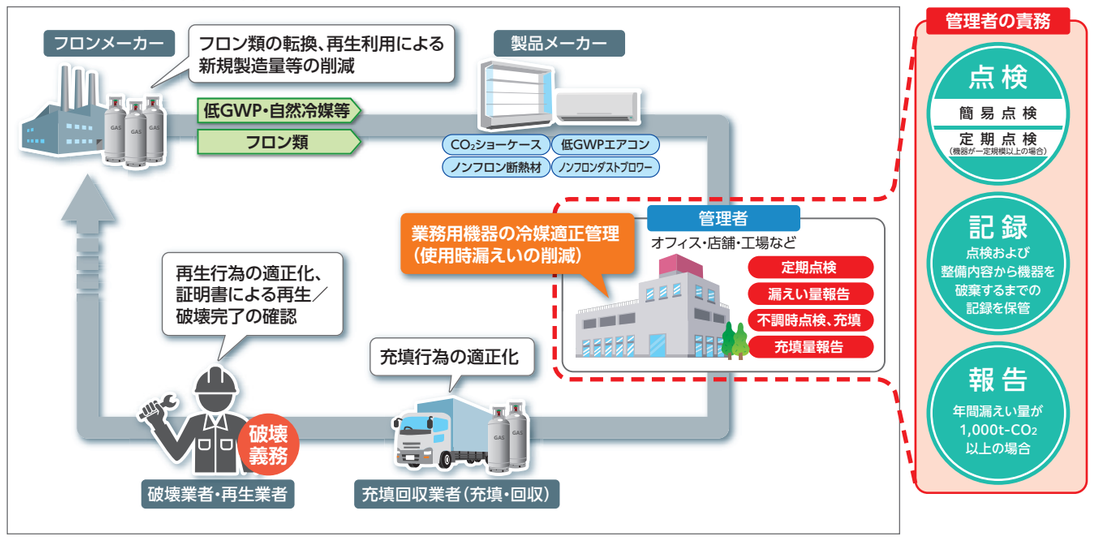
責務	内容	対象設備	どのように	いつ	誰が
点検 簡易点検 定期点検（機器が一定規模以上の場合）	簡易点検	業務用冷凍空調機器全般（第一種特定製品）	目視点検	3ヶ月に1回以上	誰がやってもOK
			※「2022年8月の法改正で遠隔監視で目視点検を代替可能」 **※一定の稼働条件を満たせず、冷媒漏えい診断ができていない場合は、現地での目視点検が必要になります。**		
	定期点検	冷凍機：圧縮機出力7.5kW以上 空調機：圧縮機出力50kW以上	直接法・間接法による点検	1年に1回以上	**知見のある者** A. 冷媒フロン類取扱技術者 B. 一定の資格等を有し、かつ、点検に必要となる知識等の習得を伴う講習を受講した者 C. 十分な実務経験を有し、かつ、点検に必要となる知識等の習得を伴う講習を受講した者
		空調機：圧縮機出力7.5kW～50kW未満	直接法・間接法による点検	3年に1回以上	
記録 点検および整備内容から機器を破棄するまでの記録を保管	記録簿作成・保管	業務用冷凍空調機器全般（第一種特定製品）	①冷媒漏えい点検整備記録簿 ②簡易点検記録簿 ③修理/点検記録（※） ④冷媒回収/充填証明書（※）	点検・修理実施時	各書類は機器所有者が系統毎（室外機単位）に作成して保管。 ※③・④は一般的には設備業者にて作成

2015年に制定されたフロン排出抑制法のポイント

業務用冷凍空調機器の管理者にも
法律上の義務が発生

フロン排出抑制法が2015年に制定され、フロンメーカーや各事業者だけでなく
業務用冷凍空調機器の管理者にも適切なフロン管理が**義務化**されました。

各段階の当事者の役割と責務



※GWP=地球温暖化係数（Global Warming Potential）温室効果ガスが地球温度上昇に影響する度合いを示した値

フロン排出抑制法の罰則が強化

フロン管理の重要性
が高まっています

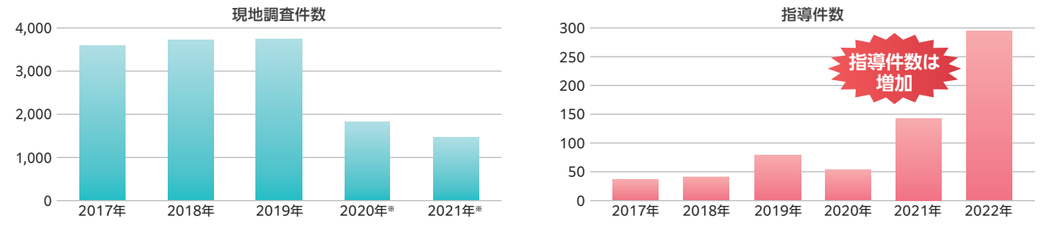
2020年には、フロン回収率向上のため「直接罰（※）」を導入して規制を強化。
各都道府県や警察の**取り締まりも強化**され、2021年11月には全国初の摘発事例も発生しています。
今後は今まで以上にフロン管理の重要性が高まっていきます。

※行政指導などを経ることなく即座に刑事罰（罰金）が適用されること。

フロン排出抑制法摘発事例

違反者	某販売会社	某解体業者
容疑	フロン回収を委託する際に**委託確認書を交付しなかった**疑い	**フロンガスを回収しないまま**空調機を取り外し、フロンガスを大気中に放出させた疑い
罰則	30万円以下の罰金	1年以下の懲役 または 50万円以下の罰金

全国一斉パトロール調査件数・指導件数



※2020年・2021年は新型コロナウイルス影響でパトロール回数が2回/年→1回/年に減少。
（出典）環境省「建設リサイクル法に係る全国一斉パトロールに伴うフロン排出抑制法の順守状況等の確認結果」

フロン排出抑制法への対応は義務。“知らなかった、やらなくていいのでは?”　ではなく、“しっかりかつ効率的にどのように対応するか?”が重要です。

面倒なフロン排出抑制法管理は三菱電機におまかせ!

フロン排出抑制法において、第一種特定製品の管理者様には以下の点検記録等の作成と保管が必要になります。

すべての業務用冷凍空調機器が対象

管理者様(主にユーザー様など)による
簡易点検

全ての第一種特定製品を対象とした簡易点検を、3ヵ月に1回以上実施しなければなりません。

点検項目例
1. 異常音・異常振動
2. 外観(配管含む)の損傷
3. 摩耗・腐蝕、その他の劣化
4. 錆び
5. 油にじみ
6. 熱交換器の霜付き
7. 庫内温度の確認(冷凍・冷蔵機器)

or

冷媒漏えい診断可能な常時監視システムの導入

圧縮機定格出力7.5kW以上の機器が対象

専門業者様による
定期点検

一定容量以上の機器については、簡易点検に加えて、専門知識を有する者による定期点検の実施が必要です。

■対象機種と点検頻度

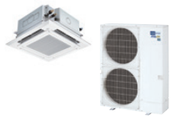
機　種	圧縮機電動機定格出力	点検頻度
空調機器	7.5kW以上50kW未満	3年に1回以上
	50kW以上	1年に1回以上
冷凍・冷蔵機器	7.5kW以上	1年に1回以上

※一定の稼働条件を満たせず、冷媒漏えい診断ができていない場合は、現地での目視点検が必要になります。

〈第一種特定製品例〉

ビル用マルチエアコン

設備用パッケージエアコン


店舗用パッケージエアコン

産業用除湿機

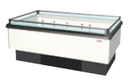
モジュールチラー

コンデンシングユニット

ブラインクーラ

クーリングユニット

産業用チラー


ショーケース

循環型加温機
(ホットウォーターヒートポンプ)

管理者とは?

「フロン類使用製品の所有者その他フロン類使用製品の使用等を管理する者」と定義されています。

※「テナントが機器を所有していない」場合はオーナー様が管理者です。
※リースではユーザー様、レンタルでは所有者様が管理者となるケースが多いと考えられます。

自己所有の場合

自己所有でない場合

フロン排出抑制法で定められた義務に対して違反行為があった場合には罰則が科されます。

義務	機器の点検 簡易点検:3カ月に1回以上(点検者の規定なし) 定期点検:有資格者により1年または3年に1回以上	点検・整備・破棄の記録の保管	漏えい量の算定・報告
罰則	●フロン類をみだりに排出した場合 1年以下の懲役 または 50万円以下の罰金	●一定量以上、漏えいした場合 会社名とともに漏えい量を公表	

など

MELく~るLINKは常時遠隔監視でお客様の負担を軽減します。

フロン排出抑制法に対応した点検・台帳管理支援サービス 無料

空調機器管理ツール　MELflo〈メルフロー〉

MELfloの基本機能
- 物件・機器情報を登録
- 簡易点検結果/点検・整備記録を登録
- 運転データ・異常履歴を管理・登録
- 登録データの共有・CSV出力

MELfloのユーザー登録/ログインはこちらから　無料

MELflo(メルフロー)に関するご相談はこちらまで
三菱電機 MELflo(メルフロー) コールセンター
0120-10-3626(無料)
(受付時間)平日(月曜~金曜) 9:00~19:00　*当社指定休日を除く

常時遠隔監視サービスを利用した空調管理サービス 有料

オフィスビル、工場など大規模物件で様々な空調冷熱製品※をご利用のお客様に!

※P.5対象機種一覧をご確認ください。

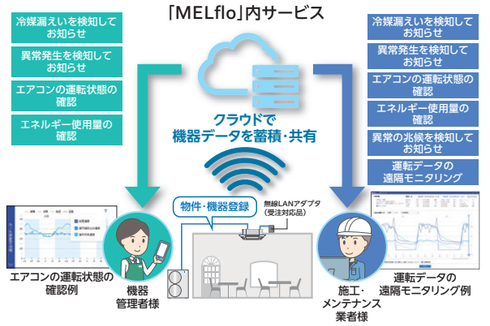
MELくるLINK

専用ページにログインし、WEB上で状況チェック

小・中規模の店舗・事務所などで店舗用パッケージエアコンのみをご利用のお客様に!

AirCoNet エアコネット

「MELflo」内サービス



〈AirCoNetご利用時の注意点〉
＊冷媒漏えい診断の有効設定が必要です。＊空調機を24時間運転しない場合や検知に必要な運転情報が得られなかった場合など、冷媒漏えい検知のために、10分程度自動で運転を行います。検知のための自動運転は、午前3時から行い、設定された運転モード、風量、風向と異なる運転をすることがあります。尚、室外吸込温度が低い(5℃以下)場合は機種により最大20~70分程度運転することがあります。＊停止中に自動運転した場合、室温が低下または上昇することがあります。＊冷媒漏えい検知機能を有効にする場合、ブレーカーを落とさずに常に通電状態にしてください。＊自動運転には1回あたり約0.6kWhの電力を消費します。(室外吸込温度15℃、室内吸込温度20℃、PLZX-ERMP280H2にてご利用の場合)

ここに注目

	MELくるLINK	AirCoNet
通信装置	遠隔監視接続用デバイス　MCC-50J	無線LANアダプタ　PAC-SK43ML
管理台数	室内ユニット最大50台まで(複数冷媒系統可)	室内ユニット最大4台まで(1冷媒系統ごと)
通信方法	LTE ※お客様のインターネット回線を利用する必要はありません。	Wi-Fi(現地手配)+無線LAN環境 (お客様のインターネット回線を利用) ※IEEE802.11規格の無線LAN
サービス・費用	機器購入費用+サービス月額費用	機器購入費用(サービス代不要)
対象機種	ビル用マルチエアコンほか(※1)	店舗用パッケージエアコン

※1. P.5対象機種一覧をご確認ください。